

センターだより

和歌山県障害者社会参加推進センター

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛5階

発行人 井 関 謙 志

T E L 073-423-2665

F A X 073-428-0515

〔スローガン〕 障害者の 雇用・就労施策の 推進を図ろう

令和7年度県の障害福祉及び こころの健康関係予算

2月20日(木)に開会した和歌山県議会令和7年2月定例会は3月18日(火)に閉会し、令和7年度の予算が決まりました。

障害福祉及びこころの健康関係の予算は、総額で147億2,823万3千円です。

県における障害者施策に関する基本的な計画である「紀の国障害者プラン2024」に基づき、障害のある人もない人も社会の一員として互いに人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」を実現できるよう、生活支援、就労支援、相談支援等各種事業を実施してまいります。まず、生活支援として、視覚・

聴覚の重複障害の方々の意思疎通や外出の支援を行う「盲ろう者向け通訳ガイドヘルパー派遣事業」に172万4千円、

失語症のある方々のコミュニケーション及び外出同行等の支援のために人材の養成・派遣を行う「失語症者向け意思疎通支援者養成及び派遣事業」に266万2千円、身体障害者手帳の対象外となっている軽度・中等度難聴児の補聴器購入を補助する「難聴児補聴器購入費補助事業」に164万4千円、

自立した日常生活や社会生活営むことができるよう障害のある方々を支援する「市町村地域生活支援事業」に3億2,771万9千円を計上しています。

次に、障害者スポーツ・文化芸術の推進として、県障害者スポーツ大会の開催や全国障害者スポーツ大会への県選手団派遣等を行う「障害者スポーツ

次に、地域移行・就労支援として、就業面と生活面の一体的な支援を行う「障害者就業・生活支援センター運営事業」に3,298万4千円、障害者のイン

ターンシップ支援や障害者の就労を促進するための居宅介護職員初任者研修を行う「チャレンジ就労サポート事業」に1,028万6千円、障害者就労施設等の販路拡大・受注促進等の

コディネート等及び農福連携推進を行う「チャレンジ工賃水準倍増事業」に669万1千円を計上しています。

次に、障害者スポーツ・文化芸術の推進として、県障害者スポーツ大会の開催や全国障害者スポーツ大会への県選手団派遣等を行う「障害者スポーツ

振興事業」に3,127万3千円、障害児者サポートセンター屋内温水プールの運営等を行う「サポートセンタースポーツ施設運営事業」に2,858万3千

円、障害のある人の文化芸術活動を支援する「障害者芸術文化活動推進事業」に426万円を計上しています。

次に、令和7年度からの新たな取組として、県立医科大学に寄附講座を設置し、児童精神科医の育成を図るとともに、県立医科大学附属病院を拠点に包括的な支援体制を構築する「こどものこころの診療ネットワーク事業」に3,700万円を計上しています。

この他、福祉のまちづくりを推進するための「福祉のまちづ

くり推進事業」に201万4千円、あいサポーターの養成やヘルプマークの普及など障害のある人への理解促進や啓発を行う「あいサポート運動推進事業」に302万2千円、乳幼児の聴覚障害について、専門性を有する相談員を配置し聴覚障害児と保護者への療育相談等を行う「聴覚障害児の早期支援体制整備事業」に941万3千円を計上しています。

和歌山県障害者スポーツ協会の活動について

令和6年度、当協会は、県障害者スポーツ大会の他、様々な競技大会やイベントを主催し、皆様方の御協力のもとで、障害者スポーツを振興してまいりました。

令和6年度後半の行事として、10月6日、第18回和歌山県障害者グラウンド・ゴルフ大会を有田市健康スポーツ公園【BIG SMILE PARK】で開催し、県内各地から52名の参加者がスポーツ交流を深められました。

10月13日、県立体育館で第8回車椅子バスケットボール琴

の浦杯を開催し、和歌山、福井、京都、奈良の4チームが参加、熱戦が繰り広げられました。

11月10日、県障害児者サポートセンター体育館で第19回和歌山県障害者ふれあいインドアアーチェリー大会を開催しました。県内外から参加した52名の方々は、静寂の中で熱戦を繰り広げ、親睦の輪を広げることができました。

12月1日(日)には、和歌山県立体育館において、関西マスターズゲームズ2024記念第43回黒潮オープンと和歌山県障害者卓球選手権大会を開催しました。全国各地から、多くの素晴らしい選手が参加し、技術の高さに驚くとともに、圧巻のプレーを披露してくれました。

そして、12月14日(土)、15日(日)に、和歌山県立体育館において第9回全国知的障害者親睦バレーボールわかやま大会を開催しました。県内外の男子4チーム、女子3チームの参加があり、熱い試合が繰り広げられました。

また、第24回和歌山県障害者スポーツ大会フライングデ

スク競技について、開催予定の令和6年9月22日(日)が雨天中止となったため、令和7年2月9日(日)に「記録会」をビッグホエールにて行いました。

その他の活動といたしましては、障害者スポーツ参加者を広げるため、和歌山市内で「ボッチャ教室」、「卓球教室」、「フライングデイスカ教室」を年内に開催し、令和7年1月から、橋本市、和歌山市、西牟婁郡、新宮市で、2024Parasport Meets(障害者スポーツ教室)を実施し、58名の方々に参加頂きました。

令和7年2月から、「県スポーツ出よう!!!」というスローガンのもと、第25回県障害者スポーツ大会の参加申込受付を開始しました。今年の大会は令和7年5月18日に開会式・陸上からスタートし、9月28日のフライングデイスカまで、7つの個人競技が繰り広げられます。申し込みされた方は、練習会も開催する競技もありますので、お問い合わせください。県スポーツは、障害者スポーツの祭典として、選手が多くの仲間と一緒に汗を流し、笑顔を分かち合う素

晴らしい機会と考えております。選手たちの頑張る姿を多くの方々に見ていただきたいので、是非会場にお越しください。今後とも、県内に在住する身体障害者・知的障害者の方々のスポーツ・レクリエーション活動の振興と社会参加の促進に推進してまいりますので、当協会の活動を応援していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和6年度 和歌山県障害児者親子のつどい

障害児者とその家族が旅を通じて相互の親睦と交流を深めることで、日頃の疲れを癒し、障害児者福祉の増進に資することを目的に令和6年10月25日(金)・26日(土)にかけて和歌山県障害児者親子のつどいが開催されました。

今年は初めて和歌山県外での実施となり、滋賀県大津市のびわ湖大津プリンスホテルが会場となりました。開催にあたり滋賀県障害児協会の乗光理事長に夕食会場にお越しいただき、歓迎のお言葉をいただきました。交流会で行われたビッグ大会の景品提供を一部同協会に依頼し、県外の事業所の自主製品をじかに見ること、県内作業所の関係者の方にとつてとても参考になりました。食事では滋賀県名物の近江牛やこんにやく料理などを堪能し、参加者331人が一泊二日の旅を満喫しました。

(和歌山県障害児者父母の会連合会)

令和7年度障害福祉及び こころの健康関係予算の主な内容

- 地域生活支援事業関連
【R7当初予算額 5億1,673万2千円】
(1) 県地域生活支援事業
①専門性の高い相談支援
・発達障害者支援体制整備
・高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及
・聴覚障害児の早期支援体制整備
②専門性の高い意思疎通支援
・手話通訳業務推進
・盲ろう者向け通訳・ガイドヘルパー派遣
・失語症者向け意思疎通支援者養成及び派遣
③広域的な支援
・県相談支援体制整備
④サービス提供者等の人材育成
・障害福祉従事者資質向上研修
⑤社会参加支援
⑥権利擁護支援
(2) 市町村地域生活支援事業への県補助
- 地域移行・一般就労促進関連
【R7当初予算額 3億732万8千円】
・精神障害者地域生活支援体制整備
・障害者支援施設等整備
・障害者就業・生活支援センター運営
・チャレンジ就労サポート
- 障害者の工賃水準向上関連
【R7当初予算額 669万1千円】
・チャレンジ工賃水準倍増
- 障害者スポーツ・文化芸術の推進
【R7当初予算額 6,411万6千円】
・障害者スポーツ振興
・サポートセンタースポーツ施設運営
・障害者芸術文化活動推進
- 自立支援給付、児童福祉施設給付、重度心身障害児(者)医療費関連
【R7当初予算額 131億2,017万7千円】
・障害者援護(自立支援給付に係る県負担等)
・児童福祉施設給付費
・重度心身障害児(者)医療費支給
・自立支援医療
- 和歌山県視聴覚障害者情報提供施設維持管理運営
【R7当初予算額 7,826万2千円】
- 社会福祉施設等への物価高騰対策支援
【R7当初予算額 8,383万2千円】
- ひきこもり支援・自殺対策関連
【R7当初予算額 8,142万6千円】
・ひきこもり対策推進体制整備
・“命”のセーフティネットワーク
- 新たな施策関連
【R7当初予算額 3,871万1千円】
・こどものこころの診療ネットワーク
・てんかん地域診療体制整備

○令和7年度障害福祉関係予算における身体障害者に関する主な事業(上記1～9の事業も含む)

- * () 内はR7当初予算額
- ・自立支援医療(育成医療・更生医療)(4億7,723万2千円)
- ・障害者福祉振興(1,114万1千円)
- ・障害者社会参加促進(1,706万7千円)
- ・特別障害者手当等支給(8,723万9千円)
- ・更生相談所運営(705万円)
- ・手話通訳業務推進(3,410万4千円)
- ・障害者スポーツ振興(3,127万3千円)
- ・福祉のまちづくり推進(201万4千円)
- ・身体障害者手帳等交付システム管理(505万6千円)
- ・身体障害者補助犬給付(198万円)
- ・市町村地域生活支援(3億2,771万9千円)
- ・盲ろう者向け通訳・ガイドヘルパー派遣(172万4千円)
- ・難聴児補聴器購入費補助(164万4千円)
- ・あいサポート運動推進(302万2千円)
- ・和歌山県視聴覚障害者情報提供施設維持管理運営(7,826万2千円)
- ・失語症者向け意思疎通支援者養成及び派遣(266万2千円)
- ・障害者芸術文化活動推進(426万円)
- ・サポートセンタースポーツ施設運営(2,858万3千円)
- ・聴覚障害児の早期支援体制整備(941万3千円)

